

01 大手町小学校

地域とともにある学校づくり

小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）

中学校区の目指す子ども像	夢や志をもち、その実現に向けて、自ら考え、最後まであきらめず挑戦する子ども
我が校の目指す子ども像	自ら学び、共によりよく生きようとする子供



実現に向けた重点的な取組内容	小中一貫教育の具体的な取組	
	我が校の取組	中学校区の取組
	- 中学校区で作成した同和教育年間指導計画に基づいた実践の蓄積と、必要に応じた修正や見直し。 - 研究開発学校の指定を受け、ことば領域に「外国語」の内容を位置づけ、1～6年生における「外国語」活動の導入。	- 年度ごとに教科・領域を絞り、焦点化した中で推進していく。 - 同和教育部会では、指導計画の見直し、現地学習、かかわる同和教育の実践・推進、同和教育アンケート等を実践し、差別をなくそうとする児童生徒を育成する。 - 学習指導部会では、外国語（英語）教育の内容を把握し、小から中へスムーズな接続ができるように共有化を図る。
	成果○と課題■	成果○と課題■
	○「えがお」や「いきる」を活用した授業の内容や児童の学びの様子を保護者へ知らせることで、家庭内でも人権について考えるきっかけとした。 ■全校で外国語の活動を推進しているため、城東中学校区の各小学校との連携や情報交換をより密にする必要がある。	○同和教育部会は3年目の取組になり、実践の積み重ねや中学校区の同和教育年間指導計画の実施や見直しをスムーズに行うことができた。 ■今年度から取り組む外国語（英語）部会の取組は、今後つながりの部分の共通理解を図っていく。

〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉

取組の概要	主な活動内容	
地域の対象と深くかかわる豊かな体験活動と、体験を通じた学びを自覚したり深めたりする言語活動の充実を図った。そのことにより、「～したい」「もっと～したい」という願いをもち、積極的に周りのもの・こと・人とかかわることを通し、ふるさとに愛着をもち、自ら学び、ともにによりよく生きようとする子供の姿につながった。	生活科	ヤギやヒツジとかかわりながら、遊び場を創り出す活動（1年）
	総合	高田の四季を見つけ、地域の人と関わり、自分の在り方を探る活動（3年）
	総合	エネルギーを創り出しながら、豊かな暮らし方を問い直す活動（6年）
学校運営協議会の評価 委員の皆様からは、地域を題材とした教育活動を子供の姿をもとに高く評価していただいた。今後も、学校・保護者・地域が一体となり、地域を題材とした探究活動を中核と	夢・志チャレンジスクール事業の取組は、目指す子ども像の実現に有効であった	
	○	当てはまる
		どちらかという当てはまる
		どちらかという当てはまらない

スクールマネジメント実践報告書

した教科横断的なカリキュラムの創造に努めたい。		当てはまらない
-------------------------	--	---------

学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	2 人	保護者	1 人	住 民	9 人	その他	1 人	合計	1 3 人
学校運営協議会の回数 ※（ ）は、回数内における紙面協議回数	学校単独	1 学期	1 回 (0)	2 学期	1 回 (0)	3 学期	1 回 (1)	合計 3 回 (1)	
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1 学期	0 回 (0)	2 学期	0 回 (0)	3 学期	1 回 (1)	合計 1 回 (1)	
活動の内容					成果○と課題■				
・「社会に開かれた教育課程」を目指す、地域・学校の協働による教育課程づくり ・教育課題の解決や教育活動の改善・創造 ・各種団体等との実働・協働					○研究開発学校指定研究 4 年目を迎え、委員の皆様と目指す子供像を共有し、地域と学校がどのように協働していったらよいかが意見をいただき、教育課程に生かすことができた。 ■「大手ゆめ空間」では、今年度は残念ながら「日本舞踊」「囲碁・将棋」のみ実施し、「音楽を楽しむ会」「茶道」「太鼓」などの活動は実施できなかった。ただ、「ガーデニング」や「掲示物作成」等、子供たちや学校をバックアップする活動を地域や保護者の方が主体となって行っていた。				

総 括

教育課程の中核に位置づけている「探究」領域は、子供が思いや願いの実現に向けて、友達と協働しながら問題を解決していく姿に、高い期待感を示してくださっている。また、大手町小発の「働き方改革」について、これからの学校の在り方を考える上で必要であり、更なる工夫が求められている。

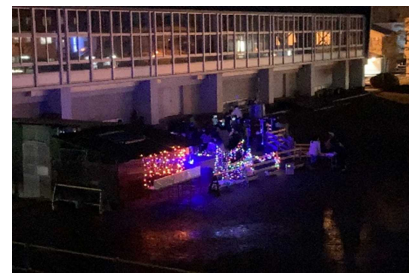
〈活動写真〉



○1・2年生は、羊や野菜を育てる体験活動をもとに喜びや達成感を感じ、お世話を通しての気付きが自己の成長につながることを体感することができた。



○3・4年生は、本町や青田川という地域を学習の舞台として探検活動を繰り返すことにより、高田や地域のよさをたくさん発見し、地域への愛着を高めることができた。



○6年生は、「つくり出す！エネルギー」をテーマに、自分たちが創り出したエネルギー（風力、水力、人力、バイオマスによる発電）で、イルミネーションを点灯させた。